

一般質問

富 吉
議員 議

質 問

- 一、宇留戸線の改良と権田線の整備について
- 二、市民病院の今後の対応について

答 弁

一、調川には国道204号と県道上志佐今福停車場線が通っており、この2路線を縦に繋ぐ形で、平尾線、棧敷線、松山田線と大きく3本の市道があります。この中で、教育の現場が棧敷線の中央部分にあり、通学等に影響があると考えられます。そこで、現況の宇留戸線を平尾線に繋ぐ検討をすべきと考えますが、市長のお考えはどうか、また、権田線の今後の整備計画についてもお尋ねします。

二、市民病院についてであります。この問題は全国的に医師の不足から地方の医療崩壊が全国各地に広がっております。松浦市民病院も政府が進めている公立病院の統合、廃止、縮小へ向けた早急な対応が迫られておりますが、市長のお考えをお聞きます。

他に、ニッチツ球場、物産館に隣接する公園の管理と残された土地の対応について質問いたしました。

一、市道の新設改良については、市内全域から多くの要望があり、対象補助事業がないことから、着工できない路線が年々多くなっている。まずは、道路整備要望書に同意書を添付して提出していただき、市道整備評価基準によって評価、ランク付けを行った後、判断させていただきたい。また、市道権田線の改良及び側溝整備については、市内全体で調整したいと考えており、ご理解いただきたい。

二、市民病院問題については、現在、庁内のサポート委員会で一生懸命議論を重ねているところである。今後、こういう方向で行くというものを示して、議論してもらうことが大事と考えているので、3月中には、市長としての考え方をまとめたい。20年度早々に立ち上げたいと考えている「あり方検討委員会」にその考えをお示しして、議論していただきたい。

一般質問

橋 高
議員 議

質 問

- 一、地域職業相談室の存続について
- 二、地場産業の育成について

答 弁

一、江迎職業安定所松浦出張所が閉鎖され、代替機関として市役所敷地に「地域職業相談室」が平成20年度までの3年間という前提で設置された。地域の非常に厳しい雇用情勢の中で高い実績を上げられており、21年度以降も是非とも存続をお願いしなければならぬと考えるが、市長の今後の取り組みをお尋ねしたい。

二、(1)公共下水道事業が、平成20年度で総事業費64億円の一期工事を終えます。この事業でどの程度地元企業が仕事をできたのか。(2)今年度からいよいよ本格的に総事業費8億8千万円の内陸型工業団地の造成事業が始まります。地元企業への発注を最優先すべきだが、当局の方針は何か。

他に、黒潮地区温泉開発の今後の対応、負担金、補助金等の削減についての方針等について質問しました。



一、これまでも大きな効果を上げていることについては、同様の認識である。また一方、有効求人倍率はまだまだ低い状況にあり、職業相談室の果たす役割は、今後とも大きなものがあると思っており、3年での廃止ではなく、存続を考えているところである。ただ、実績だけでは存続にならないと思うので、21年度以降も引き続き存続するという強い気持ちを持って、江迎職業安定所をはじめとする関係機関に働きかけてまいりたい。

二、(1)平成19年度までの下水道管渠工事合計額は27億6千930万円で、うち地元業者が18億705万円(65.3%)、処分場用地の造成工事は3億5千490万円で、市外業者と地元業者の出資比率が6:4、処分場建設工事は10億4千887万円で、下請けとして地元業者が1億6千385万円(15.6%)である。

(2)今後、測量、実施設計等を行う中で詳細な数字、工法等が明確になる設計ができれば、あらゆる方法を使って地元業者に発注できる方法を基本として対応してまいりたい。